

第4章 ロードマップ

1 ロードマップの前提条件の整理

(1) ロードマップとは

拠点化構想を実現していくためには様々な事業を段階的に着実に推進することが必要であり、そのために現時点で取組むべき事業や事業間の関係性、目標とすべき時期等について、ロードマップとして可能な限り明確に整理しました。拠点化構想に関係する誰もが拠点化構想の進捗状況や次にどのような取組みを行うかを共有でき、拠点化構想の実現に向けて協働していくことが期待されます。

本構想のロードマップの期間については 20 年間と設定し、3 つのステップ（短期・中期・長期）に分けて整理を行いました。

(2) 期間設定の考え方

ロードマップで設定した 3 つのステップ（短期・中期・長期）の期間や考え方については下記の様に設定しました。

■＜短期＞H27～H31

将来に向けて、元気な瑞穂市を維持・継続するため、瑞穂市 J R 穂積駅圏域拠点化構想を検討し、すぐに実行できる取組みから計画・実施し、幅広い人々に認知・理解をしてもらうための計画期間

短期での目標

「駅周辺が変わるかも」という地域・圏域への認知・理解

■＜中期＞H32～H36

各種取組みの検討に基づき、ハード面では変化の「見える化」、ソフト面では賑わいや利便性を実感できる施策の充実と情報発信をしていくための実行期間

中期での目標

「駅周辺が動き始めた」ということを認識してもらうための活動・事業の見える化

■＜長期＞H37～H47以降

短期、中期で計画・実行してきたことが、徐々にまちへ反映され、変化が進むことであらゆる人にとって利用しやすい環境を実現する。また、時代の要請や新たなニーズに柔軟に対応することができる環境が整い、継続的にまちが活性化する発展期間

長期での目標

「新たなニーズに柔軟に対応できる素地の完成」による継続的な発展

(3) ロードマップに関連する外的要因

ロードマップの全体像を検討する時に転機（エポック）となる外的要因について整理を行いました。

■東海環状自動車道（仮称）大野・神戸 I C 平成 31 年度(2020 年度)3 月開通(予定)

現状

- ・岐阜・大垣・名古屋への通勤において瑞穂市は穂積駅があることで「交通の利」等の強みがあり、他市町村からの転入超過が見られる。

将来

- ・東海環状自動車道が開通することで大垣、名古屋への移動が時間的に短縮でき、かつ、地価が瑞穂市より安いいため、車通勤の人は大野町や神戸町を居住地として選択することが想定される。そのため瑞穂市からの転出・他都市からの大野町や神戸町への転入の可能性がある。

「平成 32 年」をエポック（転機）とする

＜開通までに行うことが必要な取組み＞

- ・穂積駅への乗継を考慮した広域での公共交通の利便性向上
- ・子育て支援、若い世代を中心とした住宅、居住支援、福祉支援の検討（補助金による支援制度等について検討）
- ・事業推進に必要となる各事業計画の検討

■中央新幹線(リニア) 平成 39 年度(2027 年度)東京一名古屋間開通(予定)

現状

- ・名古屋までの交通の便が良いため転入超過となり、人口の増加が続いているが、他の同様の通勤圏内の都市（多治見・藤が丘・刈谷等）に比べ、駅周辺の魅力が低い。

将来

- ・東京までの移動時間短縮により、名古屋だけではなく、東京も通勤圏となりうる。名古屋駅から近いだけの魅力では居住地として選ばれなくなる可能性がある。

「平成 37 年」をエポック（転機）とする

＜開通までに行うことが必要な取組み＞

- ・駅北口を中心とした一部整備の完了・見える化の推進
- ・地価の上昇を抑制しつつ、必要不可欠な施設(ハード事業)の整備による住環境の向上
- ・案内・情報発信（駅前居住の良さを首都圏等遠方にも届くように P R）
- ・多世代に対する住宅、居住、定住支援や社会福祉支援等の拡充

2 各基本方針における取組み内容

(1) 分野設定の考え方

ロードマップでは、拠点化構想の実現のために個別の取組みまで整理を行います。基本方針の複数に関連するケースが多いため、「交流」、「居住・住環境」、「駅周辺機能・賑わい」、「交通」の4分野に「共通」を加えた5分野で整理を行います。

各分野の考え方は下記の通りです。

■5つの分野の考え方について

交流	地域間での交流や駅利用者、来街者等の様々な人が穂積駅を中心として新たな交流スペースや活動を行いながら、交流を向上させる事業内容等
居住・住環境	若い世代や転入者等新たな居住者を呼び込み、駅前居住の推進や防犯等も含めた住環境を向上させるための事業内容等
駅周辺機能・賑わい	圏域のプラットフォームとしての商業・行政機能等の集積を図ることで、だれにとっても利用しやすい駅前の利便性の向上や特徴的な商業店舗等の賑わいを図るための事業内容等
交通	圏域の交通結節点として機能の向上のため、駅前広場及び周辺道路、公共交通等様々な交通改善を図るための事業内容等
共通	まちづくり全体の方針や各種情報発信等全ての分野に共通して行っていかなければならない事業内容等

■5つの分野と基本方針の取組みの関係性について

	■基本方針1 駅への交通利便性の向上、駅周辺の交通環境の改善、地域の魅力づくりによる、みんなを「つなぐ」環境づくり	■基本方針2 日常生活が豊かだと感じ、住み続けたいという思いが「つむぐ」場所づくり	■基本方針3 誇りに思え、安全・安心で魅力ある駅周辺を目指し、みんなの心を「むすぶ」まちづくり
交流			
居住・住環境			
駅周辺機能・賑わい			
交通			
共通			

基本方針の取組みを
5つの分野に整理する

(2) 基本方針における分野別事業内容

ビジョンで示した基本方針ごとに、関連する5つの分野を考慮して事業を抽出し、短期・中期・長期で取り組むべき事項の整理を行いました。

■基本方針1

駅への交通利便性の向上、駅周辺の交通環境の改善、地域の魅力づくりによる、みんなを「つなぐ」環境づくり

	対応する方針内容	事業内容
交流	◎瑞穂市及び圏域の地域情報を発信し、利用を促進する仕組みづくり ◎普段使いから地域イベントまで幅広い世代の人が利用でき、交流だけでなく様々な用途で利用できる空間づくり	瑞穂市及び圏域の魅力の情報発信方法及び場所の検討 短期(すぐできる取組み) ・今ある自然資源や圏域の地域資源等の魅力の情報発信方法や内容について検討 中期 ・情報発信の内容・場所等の充実と情報発信を行う場所の設置検討 長期 ・事業の推進にあわせた情報発信の内容・場所等の充実と情報発信所の設置
		フレキシブルゾーンの整備及び有効活用の検討 短期(すぐできる取組み) ・市有駐車場等、今利用可能な公共空間の有効活用についての検討・実践 中期 ・北口フレキシブルゾーンでの有効活用についての検討・実践 長期 ・南北両方にあるフレキシブルゾーンでの有効活用についての検討・実践
駅周辺機能・賑わい	◎普段使いから地域イベントまで幅広い世代の人が利用でき、交流だけでなく様々な用途で利用できる空間づくり ◎瑞穂市及び圏域の地域情報を発信し、利用を促進する仕組みづくり	駅周辺の複合的な施設整備の検討 短期(すぐできる取組み) ・駅周辺に求められる施設の具体的な機能・ボリューム等の検討 中期 ・施設に必要なとなるインフラ整備と民間活力を想定した支援策・誘致方針等の検討 長期 ・インフラ整備と施設整備の連携による利便性・魅力の向上
		アクセス道路・駅前広場の改善による交通環境及びバス等の移動手段の選択性の向上の検討 短期(すぐできる取組み) ・道路規制による利用環境の改善や駅前広場の混雑改善のためのルール検討、社会実験等の実施検討 中期 ・北口周辺整備及び駅周辺のアクセス道路改善の検討・整備や公共交通の利用向上のための検討 長期 ・南口周辺整備及び駅周辺の複合施設等との連携を踏まえた駅周辺の交通環境の検討・改善
交通	◎誰もが使いやすい安心安全に寄与する駅への改善や駅前広場機能の改善、広域な公共交通を考慮した交通手段の選択性の向上 ◎駅前へのアクセス性の向上と安全性を備えた駅周辺の交通網や交通ルール、交通分担の検討	

■基本方針2

日常生活が豊かだと感じ、住み続けたいという思いが「つむぐ」場所づくり

対応する方針内容		事業内容		
交流	◎住民の住民による住民自治の実現 ◎商店街の活性化と魅力的な店舗の連携によるみんなで支える駅周辺の賑わいづくり	地域や新たな居住者が主体となった駅周辺を含めた住環境向上と地域活動の活性化促進		
		短期 (すぐできる取組み) ・駅前を含め地域をどうにかしようという意識を醸成するための取組み・活動の検討	中期 ・駅前に加え、周辺自治会や瑞穂市内の他のエリアとの連携を図った活動の拡充	長期 ・圏域の市町や新たな居住者との連携を図った活動の拡充
居住・住環境	◎若い世代が住みたいと思う多様な支援・居住形態の選択性の向上 ◎若い世代にとって穂積駅周辺に住むことがステータスになる充実した住環境の向上	多世代へ向けた子育て・居住・社会福祉等支援		
		短期 (すぐできる取組み) ・電車通勤する人等の幼稚園等の送迎にかかる負担軽減等、他の地域から選ばれるための子育て支援方策や高齢者への支援策の導入の検討	中期 ・支援策等の情報発信による転入促進と高齢者に向けた支援も含む居住環境の整備及び支援策の検討・運用	長期 ・居住支援策の継続的運用と新たなニーズの発掘、支援策の検討・構築
駅周辺機能・賑わい	◎商店街の活性化と魅力的な店舗の連携によるみんなで支える駅周辺の賑わいづくり ◎若い世代にとって穂積駅周辺に住むことがステータスになる充実した住環境の向上	空き店舗活用等による商店街リニューアルの推進		
		短期 (すぐできる取組み) ・野菜販売所の設置や加工品等の販売による駅前での商業ニーズの把握と空き店舗等の活用のための店舗確保	中期 ・商店街利用方針の検討、優遇措置等の支援策の導入、所有者への新たな土地活用の意識啓発の実施	長期 ・商店街のリニューアルに向けた施設・店舗等の誘導
交通	◎若い世代にとって穂積駅周辺に住むことがステータスになる充実した住環境の向上	多様な交通手段利便性等の向上		
		短期 (すぐできる取組み) ・街路灯の新設や水路・駐車場等におけるライトの設置の検討による“明るさ”の向上	中期 ・居住者や来街者等誰もが利用しやすいカーシェア、レンタサイクル等の多様な交通手段の拡充	長期 ・複合的な施設整備に併せた多様なモビリティ機能の充実による誰もが使いやすい交通環境の形成

■基本方針3

誇りに思え、安全・安心で魅力ある駅周辺を目指し、みんなの心を「むすぶ」
まちづくり

対応する方針内容		事業内容		
交流	◎多様な人材が主体となったエリアマネジメントを行う組織づくり ◎市内の各種窓口機能や圏域の行政サービスのサテライト機能の検討	人材の発掘と育成、組織の成立と自発的發展		
		短期 (すぐできる取組み) ・地域・朝日大学・商工会の若手等拠点化構想を推進していくためのまちづくり人材の発掘・育成と地域活動の醸成	中期 ・人材の育成・発掘によるエリアマネジメント組織の成立	長期 ・周辺の土地活用に向けた地権者との合意形成の促進 ・自立したエリアマネジメント活動の展開
居住・住環境	◎市内の各種窓口機能や圏域の行政サービスのサテライト機能の検討	公共・民間施設のサテライト機能の設置による住環境の向上		
		短期 (すぐできる取組み) ・民間施設及び行政窓口についてのサテライト機能設置に向けたシステムや設置場所等の検討	中期 ・民間施設及び行政窓口についてのサテライト機能設置による圏域の結節点としての役割強化の検討	長期 ・新たなニーズに対応する圏域の結節点としての更なる機能の充実
駅周辺機能・賑わい	◎居住者・来街者・駅利用者等人と人とが繋がることができ、瑞穂市の魅力を発信出来るイベント等の実施と周知方法の検討 ◎市内の各種窓口機能や圏域の行政サービスのサテライト機能の検討	魅力的な空間・店舗の連携づくり		
		短期 (すぐできる取組み) ・今ある穂積駅を起点とした魅力的な店舗・空間の認知向上に向けたマップ・利用促進策の検討	中期 ・空き店舗活用との連携による新たな店舗の進出促進と優遇措置等の支援策の導入検討	長期 ・商店街のリニューアルと併せた双方利用の向上に向けた連携強化
交通	◎自然環境を活かした散策路や桜やアジサイ等の瑞穂市らしさを感じることができる風景づくりの検討	歩行者等の安全安心な環境づくり		
		短期 (すぐできる取組み) ・街路灯の新設や水路・駐車場等におけるライトの設置による“明るさ”の向上の検討	中期 ・北口の道路整備等にあわせた歩行空間の利便性・安全性の向上	長期 ・南口の道路整備等にあわせた駅南北の円滑な歩行空間の利便性向上

3 各分野で取り組むべき事業内容の整理

■分野別で取り組むべき事業内容

